



東誠三©馬場紀行

Established by Shinichi Suzuki In 1946

スズキ・メソッド 指導者養成プログラム説明会

■ 2019 **3/26**(火) 開場 10:00

■ 東京交響楽団クラシック・スペース★100
(〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-23-5 矯風会館 1F)

■ 午前の部(10:30 ~ 12:00)

- 才能教育研究会(スズキ・メソッド)と指導者養成プログラムの説明
- 東 誠三 才能教育研究会講師会長(ピアノ科特別講師、東京藝術大学教授)のお話
- 生徒の演奏
協奏曲 イ短調 1楽章(ヴィヴァルディ)、ユーモレスク(ドヴォルザーク) ほか

■ 午後の部(13:00 ~ 18:00)

- 竹澤恭子 ヴァイオリン科特別講師マスタークラス
- ・ 受講資格: 18歳以上の方であれば、どなたでも受講できます。
- ・ 受講生: 6名(先着順。定員になり次第、締切らせていただきます)
- ・ 受講時間: 45分(お一人様)
- ・ 料金: 受講料 15,000円
伴奏料 5,000円(本会に伴奏者を依頼する場合。伴奏者をご自身で手配される場合は不要)
- ・ 申込期間: 2019年1月15(火)~2月28日(木)
- ・ 申込方法: 必要事項(お名前・年齢・連絡先・メールアドレス・演奏曲目・伴奏者の有無・本会会員の方は親指導者名)を明記しメールでお申込みください。
mail.tokyo@suzukimethod.or.jp(東京事務所)
- ・ お問合せ先: 公益社団法人才能教育研究会 東京事務所
〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-3-16 駿河台スカイビル 3階
電話 03-3295-0270

受講生
募集

詳細は本会ホームページ(www://suzukimethod.or.jp)をご覧ください。



竹澤恭子©松永学



公益社団法人
才能教育研究会

世界 46 カ国 40 万人がスズキ・メソッドで学んでいます

スズキ・メソッドとは

鈴木鎮一が創始した、幼児からの音楽教育法として国内はもとより広く世界に普及しています。ヴァイオリン、ピアノ、チェロ、フルートなどの楽器を通して、高い感性と美しい心を育み、集中力、忍耐力を養うという、音楽教育の域を超えた人間教育として注目を集めています。この教育法は「母語教育法」とも言われるように、すべての子どもが自由自在に言葉と話していることに着目しています。母親が子どもに言葉を語りかけるときの繰り返しと愛情を重視し、「どの子も育つ、育て方ひとつ」「人は環境の子なり」という理念に基づいて、研究を続けています。

才能教育研究会はスズキ・メソッドの礎となる松本音楽院が 1946 年に松本市に開設されてから、2016 年で 70 年を迎えました。現在、国内においては 2～3 歳から大人にいたるまでの約 1 万 5,000 人が約 1,000 人の先生とともに、また海外では世界 46 カ国、40 万人にのぼる子どもたちが、スズキ・メソッドで学んでいます。

Profile



○ 馬場紀行

東 誠三 (Seizo Azuma)

5 歳よりスズキ・メソッド 片岡ハルコ氏のもとでピアノを始める。東京音楽大学付属高校から東京音楽大学に進み、83 年、第 52 回日本音楽コンクール第 1 位。卒業後、フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院に留学。数多くの国際コンクールに優勝・入賞し、演奏活動に入る。国内はもとより、ヨーロッパ、北米などでリサイタル、オーケストラと共演。98 年、第 24 回シヨパン協会賞を受賞。CD はセイコーエプソンより多数発売。2008 年より福島・三春交流館「まほら」にて開催されたベートーヴェン：ピアノ・ソナタ全曲演奏会シリーズは好評を博し、そのライブ録音 CD 全 9 集はいずれも高い評価を受けている。12 年にはジュネーヴ国際音楽コンクール・ピアノ部門審査員を務めた。現在は活発な演奏活動とともに、東京藝術大学教授を務めるほか、東京音楽大学でも後進の指導も行っている。才能教育研究会ピアノ科特別講師。



○ 松永 学

竹澤 恭子 (Kyoko Takezawa)

3 歳より才能教育研究会にてヴァイオリンを始め、山村晶一氏に師事。桐朋女子高校音楽科在学中に第 51 回日本音楽コンクール第 1 位、併せてレウカディア賞、黒柳賞を受賞。1986 年第 2 回インディアナポリス国際ヴァイオリン・コンクールで圧倒的な優勝を飾る。以来、“世界の KYOKO TAKEZAWA”として国際的スターダムを昇り続けている。

これまで、ニューヨーク・フィル、ボストン響、シカゴ響、フィラデルフィア管、モントリオール響、ロンドン響、モスクワ放響、ライプツィヒ・ゲヴァントハウス管、バンベルク響、バイエルン放響、リヨン管、フィンランド放響、ローマ・サンタ・チェチーリア管、ロイヤル・コンサートヘボウ管など、世界の主要オーケストラと共演。指揮者では、クルト・マズア、ズービン・メータ、レナード・スラットキン、シャルル・デュトワ、リッカルド・シャイー、ケント・ナガノ、クリストフ・エッシェンバッハ、ヘルベルト・ブロムシュテット、小澤征爾らと共演している。2011 年にはフィルハーモニア管弦楽団のスペインツアー、2012 年にはヘンゲルブロック指揮ハンブルク北ドイツ放送交響楽団の日本公演でソリストを務めた。2014 年には東京フィルハーモニー交響楽団 100 周年記念ワールドツアーのソリストを務め、パリ、ロンドンなどで高い評価を得た。また、アスペン、ルツェルンといった世界的な音楽祭にも出演を重ね、メニユーイン、ロン＝ティボーなど国際コンクールの審査員も数多く務める。最近では水戸室内管弦楽団、セイジオザワ松本フェスティバルへ参加するなど、国内でも、協奏曲、室内楽、リサイタルと幅広く活躍。CD は、RCA レッド・シールより多数リリース。

第 3 回出光賞、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。

使用楽器は、日本音楽財団より貸与された 1735 年製作のストラディヴァリウス「サマズィユ」。パリ在住。

オフィシャルホームページ <http://www.kyokotakezawa.com/>